

朱二学区では、「**地域のチカラで安心なまちを創る**」を目標に取り組みを進めています。

近年、自然災害が多く発生し、各地で大きな被害が出ています。朱二学区には、古い木造家屋が密集している地区や幅の狭い道や袋路が多い地区があり、地震が発生した際には、大きな被害につながる恐れがあります。

このため、自主防災会は京都市と連携し、災害に強いまちを目指し、様々な取り組みを行っています。

※昨年度はコロナ禍で活動が制限されましたが、今年度は対策を講じて、取り組みを進めていきます！

防災まちあるきを実施！

令和元年度は、4・5・6ブロックを対象に実施。
(平成30年度は、1・2・3ブロックで実施)

まちに潜んだ危険な箇所を確認するとともに、取組を始めた当時から、まちはどう変わったか、防災性は高まっているのか、などについて、市役所担当者の方々、自主防災会役員、自主防災部長・副部長の皆様方と一緒に点検し、確認しました。

まちあるきでいただいた意見を参考に、まちの安全性向上に向け、京都市と連携しさらなる対策を検討していきます。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

危険な空き家やブロック塀はもちろん、緊急時の避難経路がきちんと整理されているか、普段から目を配るようにしましょう。

行き止まり（袋路）
や道幅の狭い道は緊急時の避難経路として使える？



背の高いブロック塀や管理の行き届かない空き家など危険なところ、心配なところはないか？改善できるところはないか？



日頃からあいさつなどコミュニケーションをとることで、災害時、迅速に対応できることがあるのでは？

ご挨拶 自主防災会 会長 陳友晴

令和3年度 自主防災会会長をつとめております陳友晴と申します。これまで長きに亘り会長をおつとめになられた北川惣太郎前会長より引き継ぎました。自主防災会は、これまでと変わらず、朱二学区の安心・安全について取り組んでまいりますので、ご協力の程どうぞよろしくお願いいたします。

平成25年度より取り組んでおります「防災まちづくり」も、より一層充実してまいりたいと存じます。これまでの活動や成果の一部については、京都市の HP 京都市情報館にて公開されておりますので、一度ご覧下さい。

<https://www.city.kyoto.lg.jp/tokei/page/0000192472.html>

朱二学区の防災まちづくり計画や防災まちづくりマップの電子版を入手することもできます。



「すぐにできる」対策があるかもしれません。ご確認ください。

